



感染症対策・調査センター だより

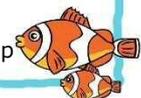


7月

2022(令和4年)7月1日 No.1

名古屋市保健所
感染症対策・調査センター

〒463-0003
名古屋市守山区下志段味穴ケ洞2266-132
電話 737-3712 FAX 736-1102
Mail a7373711-07@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

『感染症対策・調査センターだより』はインターネットでもご覧いただけます。名古屋市公式ウェブサイト<http://www.city.nagoya.jp/> から「感染症対策・調査センター」で検索してください。



感染症対策・調査センター業務紹介



感染症患者の移送

感染症患者を病院に運ぶことを移送といい、感染症患者を乗せる車のことを移送車といいます。感染症の種類に応じて个人防护具を着用します。



个人防护具



患者移送

移送車両の消毒

患者移送車両の消毒を行っています。消毒用エタノールで清拭します。



移送車両の消毒

検体搬送

HIV抗体検査検体、結核菌分子疫学検査検体等の搬送を行っています。



検体輸送箱

衛生害虫の調査

蚊・スズメバチ・マダニの生態や防除方法等の資料とするために発生状況調査などの各種調査を行っています。調査方法には吸血のため人に寄ってくる蚊を捕虫網で捕獲する人囿法、スズメバチの花の蜜に集まる性質を利用した誘引トラップ法、吸血しようとしているマダニが動物と間違えて布に飛びついたところを捕獲する旗ずり法などがあります。各種調査の結果をまとめて、発表を行ったり、啓発活動を行っています。



人囿法による蚊の捕集



スズメバチ誘引トラップ



旗ずり法によるマダニの捕獲

マダニに刺されないように気をつけよう

～ マダニが活発に活動する季節です ～

当センターでは、市内のマダニの生息状況を把握するために調査を実施しています（下表参照）。マダニは成虫の大きさが3mm～8mm程度で森林や草地等の屋外に生息しヒトを含む哺乳類、鳥類等に吸血して成長していきますが、吸血するときにSFTS（重症熱性血小板減少症候群）や日本紅斑熱等の感染症を媒介するといわれています。マダニから病気を移されないためにはマダニに刺されないようにすることが重要です。森林や草地等に入る場合には長袖、長ズボンを着用し、足を完全に覆う靴、首にはタオルを巻く等肌の露出を少なくしましょう。また、虫よけ剤も効果的ですが、使用上の注意を守って使用しましょう。

表 令和3年度マダニ生息調査結果（市内5地点）

種類	調査月								
	5月	6月	7月	8月	10月	11月	12月	1月	計
フタトゲチマダニ	1	1	12	-	2	-	-	-	16
キチマダニ	6	5	386	17	21	35	25	11	506
アカコッコマダニ	10	-	-	-	-	3	132	243	388
ヤマアラシチマダニ	4	3	4	4	1	-	-	-	16
その他	2	1	-	1	-	1	4	1	10
計	23	10	402	22	24	39	161	255	936

新型コロナウイルス感染症への業務対応により、4月、9月、2月及び3月は調査中止



今年5月の調査で捕獲されたマダニ（カクマダニ属）

スズメバチに刺されないようにしよう

～ スズメバチの巣が大きくなる季節です ～

一般にハチは、イモムシなどの昆虫を捕らえて食べたり、植物の花粉を媒介するなどの働きをしており、自然界のバランスを保つうえで有益な昆虫とされています。しかし、ハチの種類の中で、スズメバチなどの集団生活を営むハチは、巣を守ろうとする防衛本能が強く、場合によっては人が刺されるといふ被害が生じています。名古屋市内ではコガタスズメバチが一番多く見られ、軒下や生垣の中等に巣が作られます。コガタスズメバチは6月中旬から働きバチが羽化し始め、これからの夏の季節はどんどん巣が大きくなり、攻撃性が強くなります（下図参照）。巣をみつけたら、近づいたり、イタズラなどはせず、静かに後ずさりしてその場から離れるようにしましょう。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
越冬中	巣作り準備	女王バチが一匹で巣を作り始める	働きバチが羽化し始める	働きバチが攻撃する	巣に近づく人などを攻撃する	働きバチが増え、巣が大きくなる。羽化し、巣が大きくなる。	働きバチが増え、巣が大きくなる。羽化し、巣が大きくなる。	新女王バチと雄バチが交尾する	巣の中のハチは死んで次第に空になる。



越冬中の女王バチ



女王バチ1匹で作成開始の巣



働きバチが出始めた巣



働きバチが増えてきた巣
8月頃



働きバチが増えてきた巣
9月以降